

令和4年度 乙訓圏域障がい者自立支援協議会

人材確保・育成部会 活動報告（案）

1 設置の目的、役割等

障がいのある人が安心して地域で生活するためには、支援する多くの人材の確保と、質の向上のための育成が必要です。

圏域内の各サービス事業所等が安定的に人材を確保・育成するために、必要な具体策を検討することを目的、役割としています。

2 昨年度までの経過

圏域内の多くの事業所が抱える人材不足という課題は、障がいのある人が必要なサービスを利用しながら、地域で生活することへの大きな障壁になっています。この状況の中で、圏域としてできることを検討し、人材確保・育成に向けた具体的な方策を発信するため、求職者と求人者との「つながり＝縁」をつくることを大切に考え、圏域独自のチラシを作成、活用して、学校へのアプローチや就職フェア等への広報活動を行ってきました。

3 今年度の取組状況

第1回 令和4年6月23日（木）

- 1) 部会長・副部会長の選出について
- 2) 昨年度の振り返りと本年度の進め方について
- 3) チラシの更新、インターンシップ計画について
- 4) 新任職員連続講座について
- 5) 人材育成に携わる職員の意見交換会について

第2回 令和4年8月25日（木）

- 1) チラシの更新、インターンシップ計画について
- 2) 新任職員連続講座について
- 3) 人材育成に携わる職員の意見交換会について
- 4) 乙訓で働きたい人の就労フェアについて

第3回 令和4年10月27日（木）

- 1) 見学・職場体験チラシ配布後について
 - ・進捗状況
 - ・京都保育福祉専門学院での就職ガイダンス打ち合わせ
- 2) 新任職員連続講座のまとめについて

3) 人材育成に携わる圏域法人職員の意見交流会について

第4回 令和5年1月20日(金)

1) 人材育成に携わる圏域職員の交流会のまとめと今後について

2) 就職ガイダンスの報告について

3) 就職フェアに向けてについて

4) 次年度について

第5回 令和5年2月20日(月)

1) 就職フェアについて

2) 活動報告の確認について

4 今年度の活動

これまで圏域内で広く求職者を呼び込める取組みを検討してきました。その具体的な実践として、求職者と求人者との「つながり＝縁」をつくる乙訓モデルの考え方にに基づき、圏域内法人での見学・体験を促すチラシの活用を行いました。併せて、圏域の障がい福祉分野の魅力を発信、就職の選択肢のひとつに加えてもらうためのアプローチを就職ガイダンスや就職フェアにおいて行いました。

また、圏域法人による人材育成に携わる職員の意見交換できる機会をつくり、抱える課題を明らかにして、解決に向けた方策を協議していく取組みを行い、各法人での人材育成の強化の方法について提案を行いました。

(1) 圏域でのインターンシップ受け入れの仕組みづくり

前年度作成したチラシを活用してもらいやすくするための工夫を重ね、乙訓圏域法人への見学・体験への周知を行いました。〈資料1〉

また、京都保育福祉専門学院から就職ガイダンスの依頼を受けましたので、圏域内6法人の協力を得て障がい福祉サービス事業所の状況を知っていただく内容で開催しました。〈資料2〉

(2) 圏域内への転職求職者の確保に向けた連携の強化

障がい者施設への就職に興味をもっていただくために、前年度作成したチラシを活用して、再就職先の選択肢のひとつにしてもらうことを目的として、乙訓地域商工会が企画する「就職フェア」でのチラシ配布を行いました。

(3) 圏域内法人による人材育成方法の共有

乙訓で働くことを意識して横のつながりを持ち、定着してもらうことを目的に、部会として新任職員連続講座を開催しました。〈資料3〉今年度は、圏

域の障がい福祉についての歴史や特色を学び、特別支援教育や親の思いを学ぶ内容で開催して、多くの参加者を得ることができました。今回の成果を踏まえ、次年度以降の開催については、本来行うべきところへの移管が望ましい選択肢であると部会では提案いたします。なお、当初予定していたオンデマンドによる配信については、映像への他者の映り込み等の技術的な課題から行うことが出来ませんでした。

また、人材育成に携わる職員が、業務において抱える課題等を共有できる機会として、人材育成に携わる圏域職員の意見交流会を開催して、意見交換とともに横のつながりづくりの取組みを行いました。〈資料4〉

5 次年度の取組み

(1) 圏域内における人材確保のための仕組みづくり

・事業所見学会チラシの更新

周知する素材として作成したチラシを活用するために、定期的なアップデートを行うとともに、より多くの圏域法人の参加を促し、圏域の人材確保のための事業所見学会が活発化することを目指します。

・就職フェアへの参加

これまで培ってきた圏域法人の横のつながりを活かして、乙訓で働きたい方を、新卒、中途転職と区切ることなく幅広く受け入れていくために、これまでのつながりを活かすかたちで、乙訓地域商工会と連携して、圏域内の人材確保を図っていきます。

・就職ガイダンスの実施

乙訓障がい者基幹相談支援センターが窓口となって、各養成校からの依頼を受けて調整しているため、今後も依頼があれば回数等を制限せずに継続して実施していきます。

(2) 圏域内法人による人材育成方法の共有

・新任職員連続講座

一定成果を得られたことにより、次年度以降の開催については、乙訓障がい者基幹相談支援センターに事業を移行するものとして、本部会はバックアップするという体制をとるものとします。

・人材育成に携わる圏域職員の交流会

前年度を踏まえて企画を行い、意見交換が図れる機会を提供していくとともに、抱える課題を明らかにして、解決に向けた方策を検討していきます。

ちらし配布の状況

事務局：夏川

- 1 西山短期大学 (8/1)
 - ・保育幼児教育コースだけでなく、みらい創造コースの学生も障害福祉との縁はできる。そちらのほうにも声をかける。
 - ・総合支援課キャリアサポーターの方とも、今回話ができた。
- 2 京都保育福祉専門学院 (8/2)

教授より提案があった。以下。

 - ・今の学生は、自分から動くのではなく、外からの働きかけを待っている。実際に学生に訴えると効果がある。言ってくれば時間をとる (30~60分)。就職ガイダンスという形。
 - ・実習に近い形で現場を見てもらうとよい。
 - ・中高生の時の職場体験で、児童福祉や障がい福祉に行った生徒は、興味を持っている。やはり、実際体験することが大切。
 - ・毎週チャペルアワーの時間があり、外部の方の話を聞く機会がある。そんなところへ、当事者からの話を聞かせてもらえるとありがたい。
 - ・協議会の取組で、学生に聞かせてもらえる内容のものがあれば、教えてほしい。
 - ➡就労支援部会の「庁内実習報告会&講演会」、「医療的ケア」委員会の周知活動について今後情報提供する。(障がい者理解促進)
- 3 大阪保育福祉専門学校 (8/2)
 - ・事務の方で掲示し、周知を図る。
- 4 佛教大学 (8/4)
 - ・教授ゼミ生に対して、キャリアセンターに情報提供し、掲示し周知を図る。
- 5 平安女学院大学 (8/5)
 - ・配荷する。
 - ・学生は、放課後等デイ等に興味を持っているが、情報がない。そういった情報を頂けないか。
 - ➡乙訓圏域児童通所事業所連絡会があり、その代表が「こらぼねっと京都」。そちらにつながせていただくことができる。
- 6 京都府福祉人材・研修センター (8/3)
 - ・配荷する。
- 7 その他
 - ・9/25 就職フェア 他
 - ・各事業所のホームページへの掲載 (協議会 HP 掲載済)
- ※ 11月末 友愛印刷でチラシ印刷 200部
 - ・各事業所で連携している大学へ
 - ・商工会主催「乙訓で働きたい人の就職フェア」
 - ・再度、上記大学等へ掲示・配布

社会に意味のある人々・職場で笑顔



笑顔あふれる元気いっしょ
事業所を目指しています
利用者の笑顔が明日への活力に！
入社2年目
特定非営利活動法人フレンドリー
ライトホープ福岡京



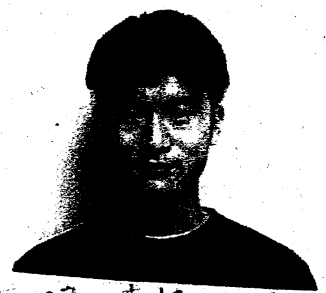
NPO法人てくてく
入社2年目
メンバーの笑顔が
働く原動力♪

資料1

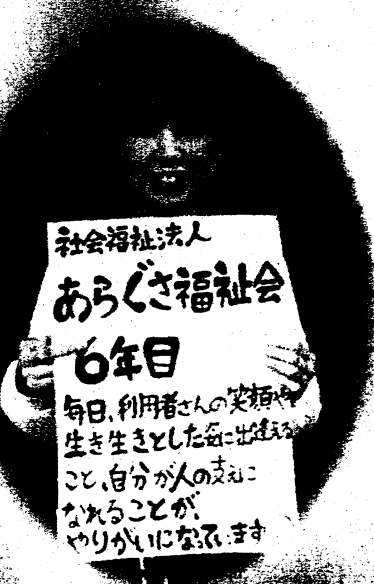


こらばねと
非常勤から始めて10年
人はいくつになっても成長すると
利用者も自分も日々感じている

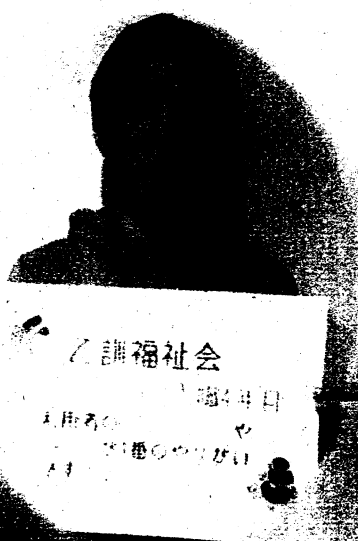
ここで
あなたと
ケケウ
笑顔
しあわせ



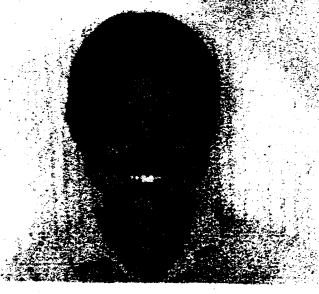
知事賞
千変万化
入社3年目



社会福祉法人
あろがき福祉会
6年目
毎日、利用者さんの笑顔や
生き生きとした姿に出会う
こと、自分が人の支えに
なれることが
やりがいになります



乙訓福祉会
入社4年目
利用者の笑顔や
職場のやりがい
が大好きです



福祉会
あろがき福祉会
入社2年目
ご利用者とつくる生活に
やりがいを感じます！
の絶えない時間を
一緒に作りましょう！

乙訓県障害者がい者自立支援協議会

1 目的

人材育成に向けて、乙訓の障がい福祉を知っていただきたい思いから、昨年度チラシを作成、近隣の大学や専門学校に配架をお願いし、また、京都府就職フェアで配布しました。今年度もチラシを更新し、配架先を増やして周知を図っているところです。その中で、京都保育福祉専門学院から、直接学生に向けて説明の場を頂けることになり、就職ガイダンスとして実施することになりました。

2 実施日時 (調整中)

令和5年1月12日(木) 13:00~14:30
もしくは1月19日(木) 13:00~14:30
1コマ授業90分間

3 会場

京都保育福祉専門学院(西京区榎原百々ヶ池3) 3階チャペル

4 対象

京都保育福祉専門学院 1回生(72名)

5 参加法人

あらかぎ福祉会・乙訓福祉会・晨光苑・こらぼねっと京都・てくてく
ライトホープ長岡京・乙訓ひまわり園

6 実施内容(90分)

- (1) 乙訓圏域障がい者自立支援協議会人材確保・育成部会の紹介
乙訓地域について(交通機関等)(5分)
- (2) 乙訓の障がい児・者の事業所の紹介(5分×7事業所)
- (3) 質疑応答(15分)
- (4) 休憩(5分)
ブースづくり
- (5) 個別相談(10分×3ブース)
個別に各ブースで聞きたいこと等相談の時間を持つ。一人3ブース回れる。

5 準備

- (1) 人材確保・育成部会からの出席者の打ち合わせ
- (2) 学校との最終打ち合わせ(基幹で調整)
- (3) 準備物 PPの取りまとめ(基幹)、チラシ(更新したもの)
付箋50枚(質問用)